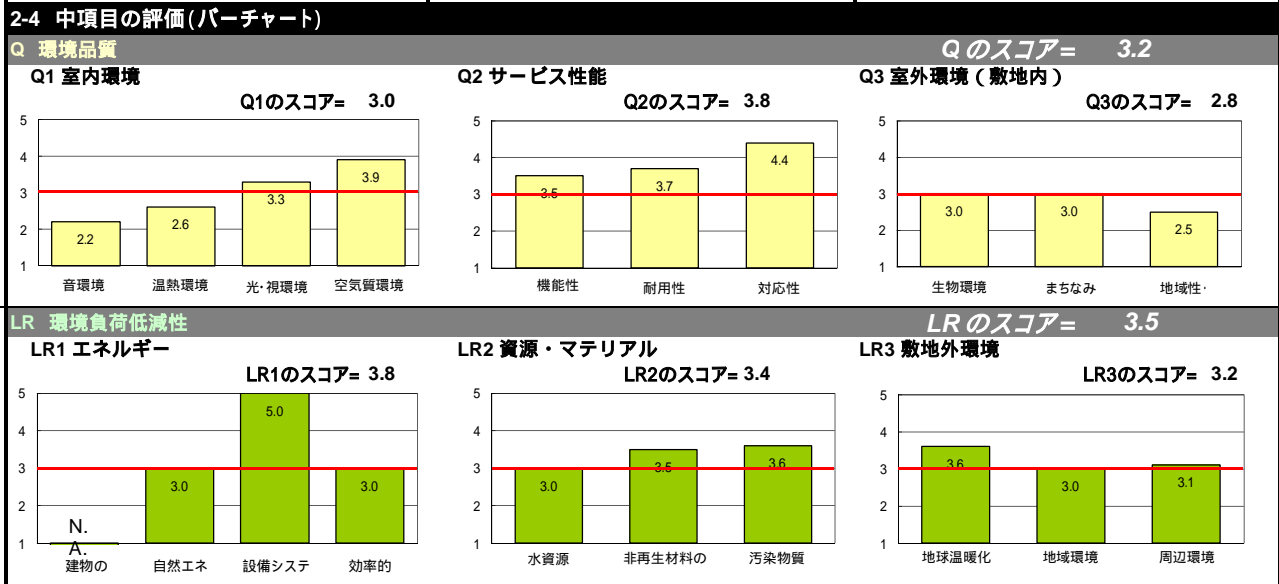
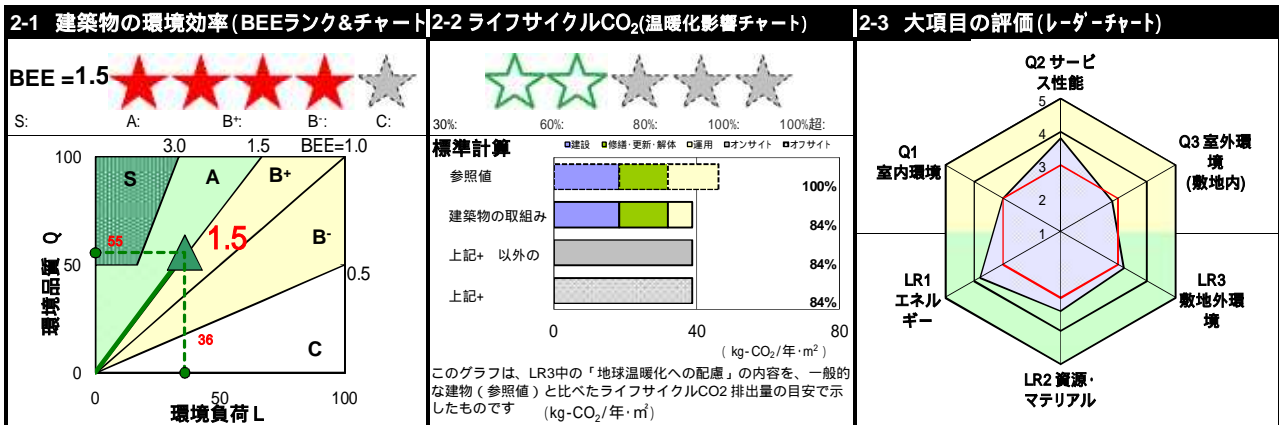


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木金田計画	階数	地上4階
建設地	厚木市 金田字御嶽1084-1他4筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	2,284 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2013年10月25日
敷地面積	17,946 m <sup>2</sup>	作成者	JFEシビル(株)
建築面積	11,520 m <sup>2</sup>	確認日	2013年10月31日
延床面積	38,653 m <sup>2</sup>	確認者	JFEシビル(株)



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物全体を免震構造とし建物本体と受け入れ荷物の安全性が高く、柱スパンと階高さを十分に確保して倉庫としての基本性能を高次元で実現している。屋根面には太陽光パネルを全面に設けて屋根からの入熱を抑えたと共にCO <sub>2</sub> 削減に貢献している。また、外壁には断熱サンドイッチパネルを採用し熱負荷低減を図り快適な室内空間への配慮としている。	<b>その他</b> ・杭に代わって地盤改良・柱状改良とし、場外への搬出土を極力削減する計画とした。	
<b>Q1 室内環境</b> 庫内環境は、十分な換気量を確保すると共にLED照明により照度200lxとして十分な明るさを確保した。荷物に対しては紫外線による劣化を考慮して窓を設けない計画とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 棚配置及び通路を考慮した柱スパン、荷の高さに応じた階高さ、荷の重さに対応した積載加重(1.5t/m <sup>2</sup> )を確保している。免震構造の採用。テナント区画毎の十分な揚重設備。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 周辺の景観に配慮した計画とした。周辺の自然と調和した緑化空間を形成した。
<b>LR1 エネルギー</b> 屋根面の太陽光パネル設置や外壁に断熱パネル採用して熱負荷低減及びCO <sub>2</sub> 削減に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 水資源: 衛生器具は節水型を採用。 再生材: 路盤材料に再生クラッシュランを採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・太陽光発電(全量売電)によりCO <sub>2</sub> を削減した。 ・敷地外周にはグリーンベルト及び生垣を設けて緑化を図った。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される